

豊後大野市立菅尾小学校 【ICT活用の実際、板書の構造化と児童の意欲的な学び、自立した学習者の育成】

1. ICT活用の実際



国語科⇒資料に書き込み



算数科⇒数直線を拡大



図画工作科⇒教科書作品投影



国語科⇒児童の作品の位置づけ、児童の意欲的な授業参加



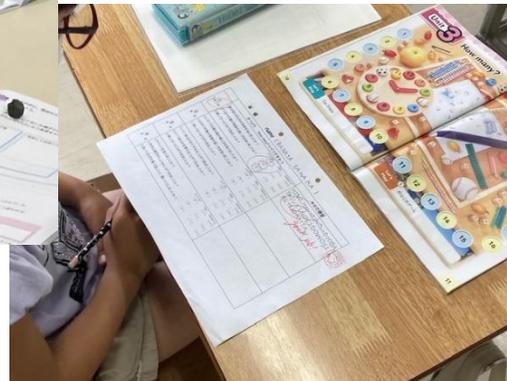
3. 自立した学習者の育成



記入後、振り返りを発表⇒相互で共有

2年国語科 『振り返りシート』

5年理科 『振り返りシート』



3年英語活動 『振り返りシート』

1. 国語科では、教材文に実際に指導者が書き込みを行い、児童が理解しやすいように工夫されていました。また、算数科では、数直線が拡大投影されて、児童の理解の手助けとなるように工夫されていました。図画工作科の授業では、児童の作品づくりのイメージや意欲が高められるように教科書などの作品が投影されていました。
2. 国語科では、読み手に分かりやすくなる記事を作成したものを黒板に位置づけたことで、お互いの記事に対してもっと良くなるための考えや工夫点を積極的に出し合う児童の姿を生み出していました。
3. 『自立した学習者の育成』については、発達段階に応じた『振り返りシート』の活用で振り返りが実施されていました。児童が、振り返りの場面で本時の内容を思い返して、「わかったこと」「工夫したこと」「良いと思った友だちの考え」「ちょうせん」などの視点を設けて実施されていました。